

令和6年度における取組み内容について

航空局 航空ネットワーク部 空港技術課
令和7年3月

令和6年度の取組み概要について

- 昨年度開催した「第8回空港除雪の省力化・自動化に向けた実証実験検討委員会※」において、以下工程表のとおり、今後の全体像についてご報告したところ。
- 今年度については、運転支援ガイダンスシステムを導入したプラウ除雪車・スノーパ除雪車を対象として、ワンオペ運用に向けた運用ルール等の検討を行う。
- 加えて、除雪車両の自動化やシステム開発の観点から、技術動向の調査・開発検討を行う。

車種	項目	これまでの取組	2024年度	2025年度	以降
 プラウ除雪車	省力化	・運転支援ガイダンスシステム 2台導入 ・除雪作業を通じた検証	運用ルール等の検討	評価・見直し	オペレータ1名による 除雪作業体制の構築 ※1
	自動化	プラウ装置の上昇下降	技術動向の調査・開発検討		
 スノーパ除雪車	省力化	・運転支援ガイダンスシステム 1台導入 ・除雪作業を通じた検証	運用ルール等の検討	評価・見直し	オペレータ1名による 除雪作業体制の構築 ※1
	自動化	スノーパ装置の上昇下降・左右旋回	技術動向の調査・開発検討		
 ロータリ除雪車	自動化	自動化に向けた仕様検討	自動化ロータリ除雪車の開発 技術動向の調査・開発検討		
システム開発	除雪に必要な情報の取得	雪質データ等の関係性調査	技術動向の調査・開発検討（センサー類・空港情報等）		

令和6年度調査について

【省力化】

- ①ワンオペ運用に向けた運用ルール等の検討

【自動化】

- ①海外動向調査
- ②要素技術に関する動向調査

※

「空港除雪の省力化・自動化に向けた実証実験検討委員会」において運転支援ガイダンスシステムの開発に向けた実証実験等の検討を行い、実装に向けた一定の目処が立ったところ

※1 各空港における除雪車へのガイダンスシステムは更新等にあわせて適宜整備。

※2 空港除雪に使用する車両として凍結防止剤散布車があるが、当該車両については走行装置の自動化の状況に応じて導入。